

UK02-PDF-001 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法の目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「道路運送車両について所有権の公証等、安全性の確保、公害防止その他の環境保全、整備技術の向上等を図り、公共の福祉を増進すること。」とした。

B.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可における運行経路として適切なものはどれか。」に対し、回答「申請時に経路を特定しなくてもよい。」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は誤り。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は正しい。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第1条は、所有権の公証、安全性、環境保全、整備技術・整備事業の健全な発達を通じた公共の福祉の増進を目的としている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。経路の特定が制度の要件である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-002 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法にいう「道路運送車両」の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車及び原動機付自転車のみ」とした。

B.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可を受ける車両について、自動車損害賠償責任保険（共済）の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「許可期間の翌日から有効な証明書でもよい。」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は正しい。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は誤り。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。軽車両も含まれるため不十分である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。許可期間中に有効でなければならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-003 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「自動車」の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「軌条を走行する鉄道車両を含む。」とした。

B.【臨時運行の許可】設問「車検切れのトラックを単なる試乗目的で公道走行させたい場合、臨時運行許可について最も適切な説明はどれか。」に対し、回答「単なる試乗は原則として許可対象外であり、検査・登録等の法定目的に沿う必要がある。」とした。

ア. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は誤り。

イ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は誤り。

ウ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は正しい。

エ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。軌条を用いる鉄道車両はこの定義から外れる。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。国土交通省は、車検切れ・未登録車の単なる試乗は臨時運行許可の対象外と明示している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-004 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「軽車両」の説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「排気量660cc以下の四輪自動車だけをいう。」とした。

B.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可の対象車両に関する国土交通省の案内として正しいものはどれか。」に対し、回答「鉄道車両を対象とする。」とした。

ア. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は正しい。

イ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は正しい。

ウ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は誤り。

エ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。これは一般に軽自動車の説明に近く、軽車両とは別概念である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。鉄道車両の制度ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-005 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法にいう「運行」の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「人や物を実際に運送しているかどうかにかかわらず、道路運送車両をその装置の用い方に従い道路で用いること。」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「道路運送車両法上、検査対象自動車を運行の用に供するための基本要件として正しいものはどれか。」に対し、回答「事業者が自社点検を行えば国の検査制度は適用されない。」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第2条第5項は、人・物の運送の有無を問わず、道路で車両を用いることを「運行」とする。道路以外のみでの使用は除く。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自社点検だけで法定検査に代えることはできない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-006 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法にいう「道路」に含まれるものとして最も適切なものはどれか。」に対し、回答「道路法による国道だけ」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「新規検査を受ける代表的な場面として正しいものはどれか。」に対し、回答「日常点検でタイヤ空気圧を調整したとき。」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。国道だけに限定されない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。通常の整備で新規検査にはならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-007 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「自動車運送事業」の定義について正しいものはどれか。」に対し、回答「鉄道事業を含むすべての陸上運送事業をいう。」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「継続検査の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「自動車検査証の有効期間満了後も引き続き自動車を使用しようとするときに受ける検査。」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。鉄道事業は含まれない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。継続検査は、車検証の有効期間を更新し引き続き使用するための検査で

ある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-008 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の自動車の種別を定める基準として正しい組合せはどれか。」に対し、回答「運転者の免許歴・年間走行距離・積荷価格」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「トラックを改造し、長さ・幅・高さや最大積載量などに変更が生じる場合に検討すべき検査はどれか。」に対し、回答「運転免許の更新だけ」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者属性や積荷価格で車両種別は決まらない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。免許更新は運転者の手続である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-009 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法に規定される自動車の種別の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「臨時検査の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「新車を初めて登録する際の検査。」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。車両法の種別は、普通・小型・軽・大型特殊・小型特殊の5区分である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。新車時は新規検査である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-010 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「登録を受けなければ運行の用に供することができない「登録自動車」の対象について正しいものはどれか。」に対し、回答「すべての原動機付自転車も国の自動車登録ファイルへの登録が必要である。」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「登録を受けていない登録対象自動車を運行の用に供しようとする場合の組合せとして適切なものはどれか。」に対し、回答「移転登録だけを行い検査はしない。」とした。

A. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

I. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

U. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

E. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。原動機付自転車を自動車登録ファイルに登録する仕組みではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。所有者移転だけの場面ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-011 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「登録自動車の所有権の得喪について、道路運送車両法上正しいものはどれか。」に対し、回答「売買契約書があれば登録がなくても必ず第三者に対抗できる。」とした。
- B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「現在使用中のトラックの車検証有効期間を更新し、同じ構造のまま引き続き使用する場合に通常受ける検査はどれか。」に対し、回答「継続検査」とした。
- ア. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。
- イ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。
- ウ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。
- エ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。売買契約の存在だけで車両法上の対抗要件を満たすとは限らない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。通常の車検更新は継続検査である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-012 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「軽自動車」と「軽車両」の関係について最も適切なものはどれか。」に対し、回答「軽自動車は道路運送車両には含まれない。」とした。
- B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「トラックの荷台架装を変更し、最大積載量に影響が生じる場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「荷主が同意すれば検査は不要である。」とした。
- ア. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。
- イ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。
- ウ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。
- エ. 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。軽自動車も道路運送車両に含まれる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。荷主の同意は検査免除の根拠にならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-013 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録対象自動車を新たに運行の用に供しようとする場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車登録ファイルへの登録を受けた後でなければ運行の用に供することができない。」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「臨時検査を受けるべき旨が公示された自動車について正しい対応はどれか。」に対し、回答「運転者が安全だと感じれば受検しなくてよい。」とした。

ア. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

イ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

ウ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

エ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第4条により、登録対象自動車は登録を受けなければ運行できない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。主観的判断で受検義務は消えない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-014 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「新規登録の申請と新規検査の関係について正しいものはどれか。」に対し、回答「新規検査に合格しても新規登録は法律上不要である。」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「指定自動車整備事業者から有効な保安基準適合証の交付を受けた車両の継続検査について正しいものはどれか。」に対し、回答「保安基準適合証があれば自動車検査証は永久に不要になる。」とした。

ア. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

イ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

ウ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

エ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。登録対象車は新規登録が必要である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車検証そのものを不要にする制度ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-015 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「新規登録の基準に関する記述として正しいものはどれか。」に対し、回答「車台番号と申請書の記載が一致しなくても必ず登録される。」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「新規検査と継続検査の違いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「新規検査は新たに使用する車両等、継続検査は有効期間更新後も引き続き使用する車両を主な対象とする。」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車台番号等の同一性確認は重要である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。検査の目的とタイミングが異なる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-016 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の所有者の住所が変わった場合の原則的な手続として正しいものはどれか。」に対し、回答「1年以内に任意で変更すればよい。」とした。

B.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「「臨時運行許可」と「臨時検査」の違いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「臨時運行許可は国が事故多発車種に一斉検査を命じる制度である。」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定期限は1年ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事故多発等への特別検査は臨時検査側である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-017 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の使用の本拠の位置に変更があった場合について正しいものはどれか。」に対し、回答「原則として、その事由があった日から15日以内に変更登録を申請する。」とした。
- B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「事業用トラックの自動車検査証の有効期間について、一般的な取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「無期限」とした。
- ア. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。
- イ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- ウ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- エ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。使用の本拠の位置は変更登録の対象事項であり、原則15日以内の申請が必要である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車検証に無期限という区分はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-018 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の所有者が売買により変更された場合、新所有者が行う手続として正しいものはどれか。」に対し、回答「変更登録を5年以内に行えばよい。」とした。
- B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自家用の車両総重量8トン未満の貨物自動車について、新車時の自動車検査証の有効期間として一般的に正しいものはどれか。」に対し、回答「3年。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。
- ア. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- イ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。
- ウ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- エ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。所有者変更は移転登録であり期限も5年ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。新車の自家用乗用車の3年と混同しない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-019 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「次のうち、通常「変更登録」ではなく「移転登録」の対象となるものはどれか。」に対し、回答「使用の本拠の位置が変更された。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自家用の車両総重量8トン未満の貨物自動車について、初回の有効期間満了後の継続検査による有効期間として一般的に正しいものはどれか。」に対し、回答「1年。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。使用の本拠変更も変更登録の対象となる。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。同区分の貨物自動車は初回2年、その後は1年が基本である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-020 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車が解体され、再び自動車として使用しない場合の手続として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「変更登録だけを行う。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「2025年4月1日以降、継続検査を受けても残存する有効期間を失わない受検可能期間について正しいものはどれか。」に対し、回答「満了日の前日だけ」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。登録事項の単なる変更ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。前日だけに限定されない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-021 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の使用を当面中止するが、将来再使用する可能性がある場合に選択される手続として適切なものはどれか。」に対し、回答「一時抹消登録」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「電子車検証の形態について正しいものはどれか。」に対し、回答「電子車検証には車台番号等の車両情報は一切記録されない。」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。一時抹消登録は、自動車の使用を一時中止する場合の登録手続である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両情報は券面・ICタグに記録される。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-022 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の登録事項に関する証明書について正しいものはどれか。」に対し、回答「所有者本人以外はどのような場合も請求できない。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「電子車検証の「有効期間」の確認について正しいものはどれか。」に対し、回答「券面のどこにも記録されず国にも情報が無い。」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法は「何人も」請求できる旨を規定するが、実務上は請求理由等の要件がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。ICタグに記録されている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-023 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「自動車登録ファイルを管理する者として正しいものはどれか。」に対し、回答「都道府県公安委員会」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「「自動車検査証記録事項」の備付け義務について、国土交通省の説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「補助的な書面であり、電子車検証そのもののような車両運行時の備付け義務はない。」とした。

ア. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

イ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

ウ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

エ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。公安委員会は運転免許等に関係するが登録ファイルの管理主体ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。国土交通省は、自動車検査証記録事項には車検証のような備付け義務はないと明示している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-024 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「永久抹消登録等をした自動車に係る自動車登録ファイルの記録の保存について、正しいものはどれか。」に対し、回答「登録記録は保存せず、申請書だけを1年間保存する。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証の備付け等について正しいものはどれか。」に対し、回答「有効な免許証があれば車検証は不要である。」とした。

ア. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

イ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

ウ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

エ. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。登録ファイルの記録自体に5年間の保存義務がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転免許と車検証は別の要件である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-025 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「新規登録申請に虚偽の事項があると認められる場合の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「新規登録をしない理由となる。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証記録事項に変更があった場合の原則的な期限として正しいものはどれか。」に対し、回答「次回車検時まで何もなくてよい」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第8条は、申請事項に虚偽があると認める場合を新規登録をしない場合の一つとしている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。次回車検まで放置することはできない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-026 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録対象自動車の新規登録を行う場面の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「登録済み自動車を一時的に使用中止する場合。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「登録自動車の所有者住所の変更が、変更登録と自動車検査証の変更記録の双方に関係する場合の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「車検証変更記録だけを5年後に行う。」とした。

A. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

I. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

U. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

E. 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一時使用中止は一時抹消登録の場面である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定期限に従う必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-027 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車について、所有者の氏名又は名称の変更と所有者そのものの変更の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「氏名・名称の変更は移転登録、所有者変更は変更登録。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証を紛失、盗難又はき損した場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「所定の手続により自動車検査証の再交付を受ける。」とした。

ア.新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

イ.新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

ウ.新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

エ.新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。手続が逆である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。国土交通省の登録ポータルでは、紛失・盗難・き損時の自動車検査証再交付手続を案内している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-028 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車登録番号標】設問「新規登録後の自動車登録番号標の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「所有者が任意の番号を手書きして表示する。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車の使用を一時中止して一時抹消登録を行う場合の自動車検査証の取扱いとして適切なものはどれか。」に対し、回答「返納せず自作の証明書に差し替える。」とした。

ア.自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

イ.自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

ウ.自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

エ.自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。番号は国が定める登録番号に基づく。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自作書面で返納義務に代えることはできない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-029 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車登録番号標】設問「登録自動車の封印に関する説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「原則として後面の自動車登録番号標に封印が取り付けられる。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証を盗難により返納できない状態で抹消登録を行う場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「何の説明もなく返納を省略する。」とした。

ア.自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

イ.自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

ウ.自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

エ.自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。国土交通省の案内では、封印は後面のナンバープレートの取付け箇所に行う。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。返納不能の事情を明らかにする必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-030 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車登録番号標】設問「自動車登録番号標の表示について正しいものはどれか。」に対し、回答「荷物で完全に覆っていても車内に番号を控えていればよい。」とした。

B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「車検証の有効期間が満了したトラックを公道で運輸支局まで移動させる必要がある場合の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「会社の許可があれば車検切れでも自由に走れる。」とした。

ア.自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

イ.自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

ウ.自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

エ.自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。外から識別できない状態は不適切である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。社内承認は法定要件の代替ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-031 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車登録番号標】設問「自動車登録番号標を他の自動車に使用することについて正しいものはどれか。」に対し、回答「営業所が同じなら付け替えは自由である。」とした。
- B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「電子車検証の券面に表示されない事項の例として正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車検査証の有効期間や所有者の住所など、ICタグに格納される事項。」とした。
- ア.自動車登録番号標の回答は誤り／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。
- イ.自動車登録番号標の回答は正しい／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。
- ウ.自動車登録番号標の回答は誤り／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- エ.自動車登録番号標の回答は正しい／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。営業所が同じでも別車両への使用は禁止される。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。国土交通省は、有効期間・所有者住所・使用者住所・使用の本拠等を券面非表示事項としてICタグに格納すると案内している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-032 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車登録番号標】設問「自動車登録番号標を偽造又は変造して使用する行為について正しいものはどれか。」に対し、回答「夜間だけなら認められる。」とした。
- B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「電子車検証の交付後、券面記載事項に変更のない継続検査等で情報を更新する仕組みとして正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車メーカーだけが行政手続なしで変更する。」とした。
- ア.自動車登録番号標の回答は誤り／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- イ.自動車登録番号標の回答は正しい／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- ウ.自動車登録番号標の回答は正しい／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。
- エ.自動車登録番号標の回答は誤り／自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。時間帯による例外はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。行政審査なしの自由更新ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-033 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車登録番号標】設問「転居等により管轄が変わり自動車登録番号が変更となる場合の実務として適切なものはどれか。」に対し、回答「変更登録等に伴い新しい番号標へ変更し、旧番号標は所定の手続で返納する。」とした。
- B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証の有効期間と検査標章の関係として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「どちらも運行時には不要で営業所保管だけでよい。」とした。
- ア. 自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。
- イ. 自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- ウ. 自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- エ. 自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。登録番号が変更となる場合は番号標の変更・返納等が必要となる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両での備付け・表示が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-034 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車登録番号標】設問「登録対象自動車が国の登録を受けた後、運行の用に供するための要件として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「番号標だけ購入すれば登録は不要である。」とした。
- B.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「2026年時点の継続検査時期に関する運行管理上の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「満了後1年間は無検査で運行できる。」とした。
- ア. 自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- イ. 自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。
- ウ. 自動車登録番号標の回答は誤り / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい。
- エ. 自動車登録番号標の回答は正しい / 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。番号標の取得だけで登録に代えることはできない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。満了後の無検査運行は認められない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-035 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車登録番号標】設問「ナンバープレートを紛失又は盗難した登録自動車について適切な対応はどれか。」に対し、回答「段ボールに同じ番号を書いて代用する。」とした。

B.【保安基準適合証・適合標章】設問「指定自動車整備事業者が保安基準適合証を交付できる基本的な場合として正しいものはどれか。」に対し、回答「点検・整備及び検査を行い、自動車検査員が当該自動車が保安基準に適合すると証明した場合。」とした。

A. 自動車登録番号標の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

I. 自動車登録番号標の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

U. 自動車登録番号標の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。

E. 自動車登録番号標の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自作表示は法定番号標ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。指定整備制度では、必要な点検・整備・検査を経て自動車検査員が適合を証明したときに適合証等を交付する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-036 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可制度の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「事業用自動車の運賃を臨時に変更する制度。」とした。

B.【保安基準適合証・適合標章】設問「有効な保安基準適合証を継続検査で利用する効果として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転免許が不要になる。」とした。

A. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。

I. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。

U. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

E. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運賃制度とは無関係である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者の免許制度とは無関係である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-037 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可の運行期間について、国土交通省の現行案内として正しいものはどれか。」に対し、回答「必要最小限の日数で、5日を上限とする。」とした。
- B.【保安基準適合証・適合標章】設問「保安基準適合証及び保安基準適合標章の有効期間として、指定自動車整備事業規則上正しいものはどれか。」に対し、回答「有効期間の定めはない」とした。
- ア. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。
- イ. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。
- ウ. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。
- エ. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。北陸信越運輸局の案内では、臨時運行の期間は必要最小限の日数で5日を上限としている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。明確な有効期間が定められている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-038 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可における運行経路として適切なものはどれか。」に対し、回答「申請時に経路を特定しなくてもよい。」とした。
- B.【保安基準適合証・適合標章】設問「保安基準適合標章を交付された自動車をその有効期間内に運行する場合の表示について正しいものはどれか。」に対し、回答「荷台の内部に隠して保管する。」とした。
- ア. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。
- イ. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。
- ウ. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。
- エ. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。経路の特定が制度の要件である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。外から確認できない保管では趣旨を満たさない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-039 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可を受ける車両について、自動車損害賠償責任保険（共済）の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「許可期間の翌日から有効な証明書でもよい。」とした。

B.【保安基準適合証・適合標章】設問「指定整備工場が、保安基準に適合していないことを認識しながら保安基準適合証を交付する行為について正しいものはどれか。」に対し、回答「法令違反となり、指定取消し等の行政処分の対象となり得る。」とした。

A. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

I. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り。

U. 臨時運行の許可の回答は誤り / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。

E. 臨時運行の許可の回答は正しい / 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。許可期間中に有効でなければならない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準不適合車への適合証交付は制度の根幹に反し、実際に行政処分の対象となっている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-040 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【臨時運行の許可】設問「車検切れのトラックを単なる試乗目的で公道走行させたい場合、臨時運行許可について最も適切な説明はどれか。」に対し、回答「試乗であれば必ず臨時運行許可が認められる。」とした。

B.【使用者の点検整備義務】設問「道路運送車両法上、自動車の使用者に課される点検・整備の基本義務として正しいものはどれか。」に対し、回答「故障して走行不能となった後にだけ整備すればよい。」とした。

A. 臨時運行の許可の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

I. 臨時運行の許可の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

U. 臨時運行の許可の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

E. 臨時運行の許可の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。許可目的は限定される。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。故障後だけでなく、予防的な点検整備が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-041 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可の対象車両に関する国土交通省の案内として正しいものはどれか。」に対し、回答「普通自動車・小型自動車・軽自動車・大型特殊自動車・検査対象の二輪の小型自動車などが対象となり得る。」とした。

B.【使用者の点検整備義務】設問「事業者が定期点検を認証整備工場へ委託した場合の使用者責任について正しいものはどれか。」に対し、回答「委託した車両は保安基準に適合しなくても運行できる。」とした。

A. 臨時運行の許可の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

I. 臨時運行の許可の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

U. 臨時運行の許可の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

E. 臨時運行の許可の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。現行案内では、普通・小型・軽・大型特殊・検査対象の二輪小型自動車などが対象として示されている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。保安基準不適合車を運行してよいことにはならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-042 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「道路運送車両法上、検査対象自動車を運行の用に供するための基本要件として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転者が大型免許を持っていれば車検証は不要である。」とした。

B.【使用者の点検整備義務】設問「自動車の点検時期や必要な整備を判断する際の考え方として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「走行距離が多いほど点検回数を減らしてよい。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

I. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

U. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

E. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転免許と車両検査は別制度である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。過酷な使用はむしろ追加的な点検が必要になり得る。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-043 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「新規検査を受ける代表的な場面として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転者が交代したとき。」とした。

B.【使用者の点検整備義務】設問「日常点検で制動装置に明らかな異常が見つかった場合、使用者の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「必要な整備を行い、保安基準に適合することを確認してから運行させる。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

I. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

U. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

E. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者交代は車両検査の種類を変えない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。点検の結果、必要な整備があるときは整備を行い、安全な状態で運行する必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-044 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「継続検査の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「車体色を洗車で変えたときに受ける検査。」とした。

B.【使用者の点検整備義務】設問「自動車検査（車検）と点検整備の関係について正しいものはどれか。」に対し、回答「車検と点検整備は同一制度であり区別はない。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

I. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は正しい。

U. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

E. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 使用者の点検整備義務の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。洗車は構造変更ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。両者は別制度である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-045 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「トラックを改造し、長さ・幅・高さや最大積載量などに変更が生じる場合に検討すべき検査はどれか。」に対し、回答「構造等変更検査」とした。

B.【日常点検整備】設問「事業用トラックの日常点検の実施時期として正しいものはどれか。」に対し、回答「車検の前日だけ実施する。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

I. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

U. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

E. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。構造等変更検査は、長さ・幅・高さ・最大積載量等に変更が生じる改造をした場合に行う。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車検前だけでは不足する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-046 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「臨時検査の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「車検切れ車を運輸支局まで走らせるための許可。」とした。

B.【日常点検整備】設問「事業用トラックの日常点検におけるブレーキの確認として適切なものはどれか。」に対し、回答「タイヤの製造国だけ確認する。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

I. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

U. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

E. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。それは臨時運行許可の説明である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。製造国は日常点検項目ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-047 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「登録を受けていない登録対象自動車を運行の用に供しようとする場合の組合せとして適切なものはどれか。」に対し、回答「継続検査だけを行い登録はしない。」とした。

B.【日常点検整備】設問「日常点検でタイヤについて確認すべき事項として適切なものはどれか。」に対し、回答「空気圧、亀裂・損傷、異常摩耗などを確認する。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

I. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

U. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

E. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。登録前の車両に継続検査だけという整理は適切でない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。空気圧、亀裂・損傷、異常摩耗等は日常点検の重要事項である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-048 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「現在使用中のトラックの車検証有効期間を更新し、同じ構造のまま引き続き使用する場合に通常受ける検査はどれか。」に対し、回答「臨時検査」とした。

B.【日常点検整備】設問「車両総重量8トン以上の事業用トラックの日常点検で、タイヤ関係について特に確認対象となる事項はどれか。」に対し、回答「スベアタイヤが新品であることだけ。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

I. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

U. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

E. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。国の公示に基づく臨時検査の場面ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。スベアタイヤ新品のみを要求する規定ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-049 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「トラックの荷台架装を変更し、最大積載量に影響が生じる場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「構造等変更検査を受け、変更後の構造等が保安基準に適合するか確認する。」とした。

B.【日常点検整備】設問「灯火装置及び方向指示器の日常点検として正しいものはどれか。」に対し、回答「方向指示器は夜間だけ確認すればよい。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

イ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

ウ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

エ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。最大積載量等に変更が生じる改造は構造等変更検査の典型例である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運行開始前の日常点検で確認する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-050 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「臨時検査を受けるべき旨が公示された自動車について正しい対応はどれか。」に対し、回答「運転者が安全だと感じれば受検しなくてよい。」とした。

B.【日常点検整備】設問「日常点検における原動機関係の確認として適切なものはどれか。」に対し、回答「エンジンオイル量は減っていても補充・整備の必要はない。」とした。

A. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

イ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

ウ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

エ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。主観的判断で受検義務は消えない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。油量異常は故障につながるため放置できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-051 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「指定自動車整備事業者から有効な保安基準適合証の交付を受けた車両の継続検査について正しいものはどれか。」に対し、回答「保安基準適合証があれば自動車検査証は永久に不要になる。」とした。

B.【日常点検整備】設問「エア・ブレーキを備えた大型トラックの日常点検に関する記述として適切なものはどれか。」に対し、回答「空気圧力の上がり具合やエア・タンクの凝水など、空気系統の状態を確認する。」とした。

ア. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

イ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

ウ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

エ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車検証そのものを不要にする制度ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。エア・ブレーキ車では空気圧力やエア・タンク等が日常点検の重要対象である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-052 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「新規検査と継続検査の違いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「どちらも所有者変更だけを対象とする。」とした。

B.【日常点検整備】設問「前日の運行中にハンドル付近から異音を感じた事業用トラックについて、翌日の運行開始前点検で適切な対応はどれか。」に対し、回答「荷主が急いでいれば点検を省略する。」とした。

ア. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

イ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

ウ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

エ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。所有者変更は登録の論点である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。輸送事情で法定点検を省略できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-053 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【新規・継続・構造等変更・臨時検査】設問「「臨時運行許可」と「臨時検査」の違いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「臨時運行許可は限定目的での公道運行の特例、臨時検査は保安基準不適合のおそれがある一定の自動車に対する特別な検査である。」とした。

B.【日常点検整備】設問「日常点検の結果、タイヤに深い亀裂が確認された場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「点検表にチェックを付ければ整備せず運行できる。」とした。

ア. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

イ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

ウ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

エ. 新規・継続・構造等変更・臨時検査の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。臨時運行許可（法34条等）と臨時検査（法63条）は目的も要件も異なる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。記録は整備の代替ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-054 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「事業用トラックの自動車検査証の有効期間について、一般的な取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「原則5年」とした。

B.【日常点検整備】設問「営業所で日常点検表を用いる目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「定期点検を永久に不要にするため。」とした。

ア. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 日常点検整備の回答は正しい。

イ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 日常点検整備の回答は誤り。

ウ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 日常点検整備の回答は正しい。

エ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 日常点検整備の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。5年ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。定期点検は別途必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-055 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自家用の車両総重量8トン未満の貨物自動車について、新車時の自動車検査証の有効期間として一般的に正しいものはどれか。」に対し、回答「4年。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「一般貨物自動車運送事業に使用するトラックの定期点検周期として正しいものはどれか。」に対し、回答「3か月ごとの点検と12か月ごとの点検がある。」とした。

A. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

I. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

U. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

E. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。4年ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。事業用トラックは3か月点検と12か月点検の対象である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-056 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自家用の車両総重量8トン未満の貨物自動車について、初回の有効期間満了後の継続検査による有効期間として一般的に正しいものはどれか。」に対し、回答「3年。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。」とした。

B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「事業用トラックの12か月定期点検について正しいものはどれか。」に対し、回答「12か月点検をすると日常点検が不要になる。」とした。

A. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

I. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

U. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

E. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。3年は自家用乗用車の初回等と混同している。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。日常点検は別途必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-057 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「2025年4月1日以降、継続検査を受けても残存する有効期間を失わない受検可能期間について正しいものはどれか。」に対し、回答「有効期間満了日の2か月前から満了日まで。」とした。

B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「事業用トラックの点検計画について適切なものはどれか。」に対し、回答「点検期日を運転者の記憶だけに任せる。」とした。

A. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

I. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

U. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

E. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。2025年4月1日施行の省令改正により、残存期間を失わずに受検できる期間は満了日の2か月前からに拡大された。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。組織的な期限管理が望ましい。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-058 難易度2

事業用トラック等の3か月定期点検について、国土交通省の現行案内で示される標準的な点検項目数はどれか。

A. 29項目

I. 51項目

U. 101項目

E. 12項目

答え・解説

正答：I

A：誤り。3か月定期点検の標準的な項目数ではない。

I：正しい。事業用トラック等の3か月点検は51項目と示されている。

U：誤り。101項目は12か月点検で示される数である。

E：誤り。3か月点検の標準的な項目数ではない。

総合解説：事業用トラック等では3か月51項目、12か月101項目を区別する。

UK02-PDF-059 難易度2

事業用トラック等の12か月定期点検について、国土交通省の現行案内で示される標準的な点検項目数はどれか。

- ア. 51項目
- イ. 29項目
- ウ. 101項目
- エ. 12項目

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。51項目は3か月点検で示される数である。

イ：誤り。12か月定期点検の標準的な項目数ではない。

ウ：正しい。事業用トラック等の12か月点検は101項目と示されている。

エ：誤り。12か月定期点検の標準的な項目数ではない。

総合解説：点検周期と標準的な点検項目数を対応させて整理する。

UK02-PDF-060 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「「自動車検査証記録事項」の備付け義務について、国土交通省の説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「必ず運転者が手書きで作成しなければならない。」とした。

B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「被牽引自動車の定期点検について、国土交通省の案内に沿うものはどれか。」に対し、回答「被牽引自動車は10年ごとの点検だけでよい。」とした。

ア. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

イ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

ウ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

エ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。行政から補助的に交付されるもので手書き作成するものではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。そのような周期ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-061 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証の備付け等について正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ検査標章を所定の方法で表示しなければ運行の用に供してはならない。」とした。
- B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「車検の直後に事業用トラックを使用する場合、次の3か月定期点検について正しいものはどれか。」に対し、回答「車検と定期点検は完全に同一の手続である。」とした。
- ア.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。
- イ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- ウ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- エ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第66条は、自動車検査証の備付けと検査標章の表示を運行要件としている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。制度目的・タイミングが異なる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-062 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証記録事項に変更があった場合の原則的な期限として正しいものはどれか。」に対し、回答「次回車検時まで何もしなくてよい」とした。
- B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「通常より走行距離が多いなど、使用条件が厳しい事業用トラックの点検について適切な考え方はどれか。」に対し、回答「走行距離が多い車両ほど点検周期を延長する。」とした。
- ア.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- イ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。
- ウ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- エ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。次回車検まで放置することはできない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。むしろ故障リスクが増える。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-063 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「登録自動車の所有者住所の変更が、変更登録と自動車検査証の変更記録の双方に関係する場合の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「車検証変更記録だけを5年後に行う。」とした。

B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「定期点検項目のうち走行距離によって省略できるとされる項目について、国土交通省の手引に沿う考え方はどれか。」に対し、回答「所定の走行距離に満たない場合に省略できる項目があるが、同じ項目を2回連続して省略することはできない。」とした。

ア.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

イ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

ウ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

エ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定期限に従う必要がある。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。手引では距離条件による省略を認める一方、2回連続省略を不可としている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-064 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証を紛失、盗難又はき損した場合の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「コピーを自作して原本として扱う。」とした。

B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「定期点検の結果、制動装置の分解を伴う整備が必要となった場合について適切なものはどれか。」に対し、回答「定期点検の結果生じた作業は特定整備の規制対象外である。」とした。

ア.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

イ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。

ウ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

エ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自作コピーを正式な車検証にすることはできない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。点検に伴う場合でも対象となり得る。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-065 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車の使用を一時中止して一時抹消登録を行う場合の自動車検査証の取扱いとして適切なものはどれか。」に対し、回答「所定の手続で自動車検査証を返納する。」とした。
- B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「3か月点検を実施した直後の事業用トラックについて、12か月点検期日が到来した場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「営業所長が許可すれば省略できる。」とした。
- ア. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。
- イ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- ウ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- エ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。抹消登録手続では自動車検査証の返納が必要となる。紛失等で返納できない場合は理由書等の手続がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。社内判断で法定点検を免除できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-066 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証を盗難により返納できない状態で抹消登録を行う場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「盗難なら抹消登録自体が永久にできない。」とした。
- B.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「定期点検を確実に実施するための整備管理者の管理方法として適切なものはどれか。」に対し、回答「車両番号を使わず運転者の名前だけで点検周期を管理する。」とした。
- ア. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- イ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。
- ウ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい。
- エ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。盗難でも代替手続が用意されている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両単位の周期管理が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-067 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「車検証の有効期間が満了したトラックを公道で運輸支局まで移動させる必要がある場合の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「荷物を積まなければ車検切れでも通常運行できる。」とした。

B.【点検整備記録簿】設問「事業用トラックの点検整備記録簿の備付けについて正しいものはどれか。」に対し、回答「原則として当該自動車に備え置く。」とした。

A. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 点検整備記録簿の回答は誤り。

I. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 点検整備記録簿の回答は誤り。

U. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 点検整備記録簿の回答は正しい。

E. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 点検整備記録簿の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。空車でも「運行」に含まれ得る。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第49条は点検整備記録簿を当該自動車に備え置くことを求める。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-068 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「電子車検証の券面に表示されない事項の例として正しいものはどれか。」に対し、回答「車台番号は国にも記録されない。」とした。

B.【点検整備記録簿】設問「点検整備記録簿に記載すべき事項として適切なものはどれか。」に対し、回答「車両購入時の値引額だけ。」とした。

A. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 点検整備記録簿の回答は正しい。

I. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 点検整備記録簿の回答は正しい。

U. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい / 点検整備記録簿の回答は誤り。

E. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り / 点検整備記録簿の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車台番号も券面記載事項である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。購入価格情報を中心とする制度ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-069 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「電子車検証の交付後、券面記載事項に変更のない継続検査等で情報を更新する仕組みとして正しいものはどれか。」に対し、回答「記録等事務代行者が、国の審査後に電子車検証のICタグ情報更新等を行える仕組みがある。」とした。

B.【点検整備記録簿】設問「事業用トラックの点検整備記録簿の法定保存期間として適切なものはどれか。」に対し、回答「10年間」とした。

ア.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は誤り。

イ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は正しい。

ウ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は正しい。

エ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。電子車検証制度では、委託を受けた記録等事務代行者による記録更新等の仕組みが導入されている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。望ましい長期活用と法定最低保存期間を混同している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-070 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「自動車検査証の有効期間と検査標章の関係として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「検査標章があれば車検証は不要である。」とした。

B.【点検整備記録簿】設問「2025年7月8日以降の点検整備記録簿の取扱いについて正しいものはどれか。」に対し、回答「電磁的記録は禁止され、必ず紙だけで保存する。」とした。

ア.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は正しい。

イ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は誤り。

ウ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は正しい。

エ.自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。検査標章だけで備付け義務を免れない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。現行制度と逆である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-071 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）】設問「2026年時点の継続検査時期に関する運行管理上の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「制度上、満了日の当日にしか継続検査を受けられない。」とした。
- B.【点検整備記録簿】設問「定期点検又は必要な整備を行った後の点検整備記録簿への記載時期として正しいものはどれか。」に対し、回答「遅滞なく記載する。」とした。
- ア. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は誤り。
- イ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は誤り。
- ウ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は正しい。
- エ. 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納）の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。当日限定ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第49条は、点検又は整備をしたときは遅滞なく所定事項を記載することを求める。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-072 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【保安基準適合証・適合標章】設問「指定自動車整備事業者が保安基準適合証を交付できる基本的な場合として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転者が口頭で安全だと申告すれば交付できる。」とした。
- B.【点検整備記録簿】設問「点検整備記録簿を適切に保存する実務上の利点として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「事故報告義務をなくすことができる。」とした。
- ア. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は正しい。
- イ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は正しい。
- ウ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい／点検整備記録簿の回答は誤り。
- エ. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り／点検整備記録簿の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者の自己申告だけでは足りない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事故報告制度の免除にはならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-073 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【保安基準適合証・適合標章】設問「有効な保安基準適合証を継続検査で利用する効果として正しいものはどれか。」に対し、回答「一定の要件のもとで国への現車提示を省略できる。」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「一般貨物自動車運送事業の営業所における整備管理者の選任基準として正しいものはどれか。」に対し、回答「100台未満なら選任不要である。」とした。
- ア. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- イ. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- ウ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- エ. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。指定整備工場が交付する適合証を提出することで、一定の場合に現車提示を省略できる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。5台以上で選任対象となる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-074 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【保安基準適合証・適合標章】設問「保安基準適合証及び保安基準適合標章の有効期間として、指定自動車整備事業規則上正しいものはどれか。」に対し、回答「有効期間の定めはない」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者を選任した場合の届出期限として正しいものはどれか。」に対し、回答「届出は一切不要である。」とした。
- ア. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- イ. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- ウ. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- エ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。明確な有効期間が定められている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定届出がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-075 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【保安基準適合証・適合標章】設問「保安基準適合標章を交付された自動車をその有効期間内に運行する場合の表示について正しいものはどれか。」に対し、回答「荷台の内部に隠して保管する。」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「自動車整備士資格を用いず実務経験等によって整備管理者となる場合の代表的な資格要件として正しいものはどれか。」に対し、回答「点検・整備又は整備管理に関する2年以上の実務経験を有し、地方運輸局長が行う選任前研修を修了していること。」とした。
- ア. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- イ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- ウ. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- エ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。外から確認できない保管では趣旨を満たさない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。施行規則上、実務経験と選任前研修の組合せが資格要件の一つである。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-076 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【保安基準適合証・適合標章】設問「指定整備工場が、保安基準に適合していないことを認識しながら保安基準適合証を交付する行為について正しいものはどれか。」に対し、回答「顧客が同意すれば適法である。」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の資格要件として認められるものはどれか。」に対し、回答「危険物取扱者免状だけを持つ者。」とした。
- ア. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- イ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- ウ. 保安基準適合証・適合標章の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- エ. 保安基準適合証・適合標章の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。顧客の同意で法定基準違反は正当化されない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。危険物資格も直接の資格要件ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-077 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の点検整備義務】設問「道路運送車両法上、自動車の使用者に課される点検・整備の基本義務として正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車を保安基準に適合するよう維持するため、必要な点検及び整備を行うこと。」とした。

B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「過去に整備管理者の解任命令を受けた者を再びトラックの整備管理者に選任する場合の制限として適切なものはどれか。」に対し、回答「トラックでは解任歴を考慮する必要がない。」とした。

A. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

I. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

U. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

E. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第47条は、使用者に自動車を保安基準に適合するよう点検・整備して維持する責任を課している。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。解任歴は選任資格に関係する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-078 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の点検整備義務】設問「事業者が定期点検を認証整備工場へ委託した場合の使用者責任について正しいものはどれか。」に対し、回答「委託した時点で使用者の法的責任はすべて消滅する。」とした。

B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の権限として正しいものはどれか。」に対し、回答「荷主の運賃を決定すること。」とした。

A. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

I. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

U. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

E. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。委託は責任移転そのものではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。整備管理者の権限ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-079 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【使用者の点検整備義務】設問「自動車の点検時期や必要な整備を判断する際の考え方として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「使用状況にかかわらず、すべての車両を同じ整備内容に固定する。」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「日常点検の結果に基づく整備管理者の業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「車両の運行の可否を決定すること。」とした。
- ア. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- イ. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- ウ. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- エ. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種・用途・使用状況により必要な管理は異なる。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。整備管理者には日常点検結果に基づき運行可否を決定する権限がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-080 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【使用者の点検整備義務】設問「日常点検で制動装置に明らかな異常が見つかった場合、使用者の対応として適切なものはどれか。」に対し、回答「荷物が軽ければ制動装置の異常を無視してよい。」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の定期点検に関する業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「定期点検の計画を作成してはならない。」とした。
- ア. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- イ. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- ウ. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- エ. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。積載量による例外ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。実施計画を定めることも権限である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-081 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【使用者の点検整備義務】設問「自動車検査（車検）と点検整備の関係について正しいものはどれか。」に対し、回答「車検は検査時点での保安基準適合性を確認する制度であり、日常・定期の点検整備義務とは別に継続して行う必要がある。」とした。

B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「点検で不具合が見つかった場合の整備管理者の業務として適切なものはどれか。」に対し、回答「整備の必要性は荷主だけが決定する。」とした。

A. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

I. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

U. 使用者の点検整備義務の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

E. 使用者の点検整備義務の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。車検と点検整備は目的・時期が異なる制度で、いずれも適切に実施する必要がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。荷主判断で代替できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-082 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「事業用トラックの日常点検の実施時期として正しいものはどれか。」に対し、回答「3か月ごとの定期点検時だけ実施する。」とした。

B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者が定めるべきものとして正しいものはどれか。」に対し、回答「道路標識の設置計画。」とした。

A. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

I. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

U. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

E. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。定期点検とは別に日常点検が必要である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路管理者等の業務である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-083 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「事業用トラックの日常点検におけるブレーキの確認として適切なものはどれか。」に対し、回答「エンジン停止中に前照灯の色だけ確認する。」とした。

B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の記録管理業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「点検及び整備に関する記録簿を管理する。」とした。

A. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

I. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

U. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

E. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。灯火確認とは別項目である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。記録簿管理は整備管理者の主要な権限・業務である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-084 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「日常点検でタイヤについて確認すべき事項として適切なものはどれか。」に対し、回答「ホイールの色が車体色と一致するか確認する。」とした。

B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の自動車車庫に関する業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「車庫の管理は荷主に全面委任する。」とした。

A. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

I. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

U. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

E. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。外観色は法定の日常点検事項ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。使用者側の管理事項である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-085 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【日常点検整備】設問「車両総重量8トン以上の事業用トラックの日常点検で、タイヤ関係について特に確認対象となる事項はどれか。」に対し、回答「ディスク・ホイールの取付状態が不良でないこと。」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者が運転者や整備員に対して行うべきこととして正しいものはどれか。」に対し、回答「車両の安全状態に関する情報共有を禁止する。」とした。
- ア. 日常点検整備の回答は正しい／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- イ. 日常点検整備の回答は誤り／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- ウ. 日常点検整備の回答は正しい／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- エ. 日常点検整備の回答は誤り／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。現行の点検基準では、一定の大型車についてディスク・ホイールの取付状態も日常点検対象となる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。情報共有が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-086 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【日常点検整備】設問「灯火装置及び方向指示器の日常点検として正しいものはどれか。」に対し、回答「方向指示器は夜間だけ確認すればよい。」とした。
- B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者を置く営業所の整備管理規程について正しいものはどれか。」に対し、回答「口頭の指示だけあれば規程は不要である。」とした。
- ア. 日常点検整備の回答は正しい／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- イ. 日常点検整備の回答は誤り／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。
- ウ. 日常点検整備の回答は誤り／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。
- エ. 日常点検整備の回答は正しい／整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運行開始前の日常点検で確認する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。組織的な整備管理の基準として規程が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-087 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「日常点検における原動機関係の確認として適切なものはどれか。」に対し、回答「エンジンオイル量は減っていても補充・整備の必要はない。」とした。

B.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者が法令等に違反し職務遂行が著しく不適切な場合の行政上の措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「地方運輸局長は、自動車の使用者に対し整備管理者の解任を命ずることができる。」とした。

A. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

I. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り。

U. 日常点検整備の回答は誤り / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

E. 日常点検整備の回答は正しい / 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。油量異常は故障につながるため放置できない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。道路運送車両法第53条は、整備管理者の法令違反等について使用者への解任命令を規定する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-088 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「エア・ブレーキを備えた大型トラックの日常点検に関する記述として適切なものはどれか。」に対し、回答「エア圧は警報が鳴るまで確認しなくてよい。」とした。

B.【整備命令】設問「自動車が保安基準に適合しない状態、又は適合しなくなるおそれがある状態にあるときの措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「保安基準不適合でも行政上の措置は一切ない。」とした。

A. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は正しい。

I. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は正しい。

U. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は誤り。

E. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。警報前から適正状態を確認する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。整備命令制度が存在する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-089 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「前日の運行中にハンドル付近から異音を感じた事業用トラックについて、翌日の運行開始前点検で適切な対応はどれか。」に対し、回答「異常を認めた箇所として確認し、必要に応じて整備したうえで運行可否を判断する。」とした。

B.【整備命令】設問「整備命令を受けた自動車の使用者の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「荷物が軽い日は命令対象箇所を直さず運行できる。」とした。

ア. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は誤り。

イ. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は正しい。

ウ. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は正しい。

エ. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。運行中に異常が認められた箇所は、日常点検で異常がないことを確認する対象である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。積荷の重さで命令が免除されるものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-090 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「日常点検の結果、タイヤに深い亀裂が確認された場合の対応として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「空気圧が正常なら亀裂を無視してよい。」とした。

B.【整備命令】設問「整備命令に従わない場合に生じ得る措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「何の不利益も生じない。」とした。

ア. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は正しい。

イ. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は誤り。

ウ. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は正しい。

エ. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。亀裂・損傷自体が重要な異常である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。実効性確保の措置がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-091 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【日常点検整備】設問「営業所で日常点検表を用いる目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「車検証の代わりとして使用するため。」とした。

B.【整備命令】設問「不正改造により保安基準に適合しない状態となった自動車について正しいものはどれか。」に対し、回答「使用者に必要な整備を命じ、整備後の現車提示等を求める仕組みがある。」とした。

A. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は誤り。

I. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は誤り。

U. 日常点検整備の回答は誤り / 整備命令の回答は正しい。

E. 日常点検整備の回答は正しい / 整備命令の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定検査証明書の代替ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第54条の2等により、不正改造車への整備・提示命令等が設けられている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-092 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「一般貨物自動車運送事業に使用するトラックの定期点検周期として正しいものはどれか。」に対し、回答「2年ごとの点検だけでよい。」とした。

B.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「道路運送車両の保安基準における自動車の長さの一般的な上限として正しいものはどれか。」に対し、回答「20メートルがすべての自動車の一般上限である。」とした。

A. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

I. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

U. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

E. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事業用トラックの法定周期ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。連結車の通行制度等と混同している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-093 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「事業用トラックの12か月定期点検について正しいものはどれか。」に対し、回答「12か月ごとに、3か月点検より広い項目を含む定期点検を実施する。」とした。
- B.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「基準緩和等の特例を受けていない一般的なトラックについて、車幅を実測したところ2.55メートルであった。保安基準上の評価として適切なものはどれか。」に対し、回答「車両総重量が20トン以下なら幅の上限は適用されない。」とした。
- ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。
- イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。
- ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。
- エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。12か月点検は事業用車の定期点検体系の一部で、より広範な項目を確認する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。幅の上限は車両総重量20トン以下で当然に免除されるものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-094 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「事業用トラックの点検計画について適切なものはどれか。」に対し、回答「車検月だけ確認し、3か月点検予定は管理しない。」とした。
- B.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「基準緩和等の特例がない一般的なトラックの高さが3.75メートルであった。この車両の「高さ」だけを保安基準の一般上限と比較した判断として正しいものはどれか。」に対し、回答「3メートルを超える自動車はすべて高さ基準不適合である。」とした。
- ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。
- イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。
- ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。
- エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。3か月点検も管理対象である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。高さの一般上限は3メートルではなく3.8メートルである。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-095 難易度2

事業用トラック等の定期点検の組合せとして正しいものはどれか。

- ア. 3か月29項目・12か月51項目
- イ. 3か月101項目・12か月51項目
- ウ. 3か月51項目・12か月101項目
- エ. 3か月12項目・12か月29項目

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。項目数の組合せが異なる。

イ：誤り。3か月と12か月が逆である。

ウ：正しい。3か月51項目・12か月101項目で整理する。

エ：誤り。項目数が異なる。

総合解説：事業用トラック等の3か月点検と12か月点検を混同しない。

UK02-PDF-096 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「ある営業所が事業用トラックの定期点検計画を作成している。国土交通省の現行案内で101項目を確認する点検として適切なものはどれか。」に対し、回答「被牽引自動車の3か月ごとの定期点検」とした。

B.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「セミトレーラ以外の自動車以最遠軸距が7メートル以上、かつ長さが11メートル以上の場合、保安基準上の車両総重量の上限として正しいものはどれか。」に対し、回答「36トン。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。被牽引自動車の3か月定期点検は23項目と案内されている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一定の特定セミトレーラの値である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-097 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「被牽引自動車の定期点検について、国土交通省の案内に沿うものはどれか。」に対し、回答「被牽引自動車も3か月ごとの定期点検対象で、けん引車とは別に点検管理が必要である。」とした。

B.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「自動車の軸重の一般的な上限として保安基準に定められているものはどれか。」に対し、回答「25トン。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。被牽引自動車も法定点検対象で、3か月点検が設定されている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両総重量の一部条件の値である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-098 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「車検の直後に事業用トラックを使用する場合、次の3か月定期点検について正しいものはどれか。」に対し、回答「車検と定期点検は完全に同一の手続きである。」とした。

B.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「後写鏡等の突出について保安基準の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「後写鏡はどれだけ突出しても制限がない。」とした。

ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい / 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。制度目的・タイミングが異なる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。無制限ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-099 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「通常より走行距離が多いなど、使用条件が厳しい事業用トラックの点検について適切な考え方はどれか。」に対し、回答「走行距離が多い車両ほど点検周期を延長する。」とした。

B.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「保安基準の長さ・幅・高さ等を超える特殊な構造の車両について正しい考え方はどれか。」に対し、回答「構造や使用態様が特殊で保安上・公害防止上支障がない場合、所定の認定により基準の一部が緩和されることがある。」とした。

ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り。

ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。むしろ故障リスクが増える。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準第55条には地方運輸局長による基準緩和制度がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-100 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「定期点検項目のうち走行距離によって省略できるとされる項目について、国土交通省の手引に沿う考え方はどれか。」に対し、回答「走行距離が少なければ永久に省略できる。」とした。

B.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「車両総重量が2トンを超える自動車等の制動装置について、保安基準上正しいものはどれか。」に対し、回答「制動性能は車両総重量に関係なく基準が存在しない。」とした。

ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。継続的な状態確認が必要である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。具体的な性能基準がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-101 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「定期点検の結果、制動装置の分解を伴う整備が必要となった場合について適切なものはどれか。」に対し、回答「特定整備に該当する作業は、必要な認証を受けた事業場で実施する。」とした。

B.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「警音器の装備について正しいものはどれか。」に対し、回答「警音器は音量・音色について何の基準もない。」とした。

A. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

I. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

U. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

E. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。制動装置の分解整備などは特定整備に該当し、認証制度の対象となる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。音色・音量等に基準がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-102 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「3か月点検を実施した直後の事業用トラックについて、12か月点検期日が到来した場合の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「3か月点検済みなので12か月点検は翌年まで延期できる。」とした。

B.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「大型トラックの後写鏡・後方等確認装置に関する考え方として適切なものはどれか。」に対し、回答「積荷で視界が遮られるほど鏡を内側へ向けてもよい。」とした。

A. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

I. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

U. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

E. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。周期が異なる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。必要な視界を確保できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-103 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【定期点検整備（3か月・12か月）】設問「定期点検を確実に実施するための整備管理者の管理方法として適切なものはどれか。」に対し、回答「定期点検記録は作成せず口頭報告だけにする。」とした。

B.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「制動装置に異常があり制動性能が保安基準を満たさない車両について正しいものはどれか。」に対し、回答「必要な整備を行い、基準適合状態を回復させるまで運行させない。」とした。

ア. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

イ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り。

ウ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は誤り／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

エ. 定期点検整備（3か月・12か月）の回答は正しい／制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。記録義務もあるため口頭だけでは不十分である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。制動性能は安全上の独立した保安基準であり、不適合状態は是正が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-104 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【点検整備記録簿】設問「事業用トラックの点検整備記録簿の備付けについて正しいものはどれか。」に対し、回答「整備工場が保管すれば使用者は記録を持たなくてよい。」とした。

B.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「自動車の前照灯について保安基準上正しいものはどれか。」に対し、回答「前照灯は色や明るさについて何の基準もない。」とした。

ア. 点検整備記録簿の回答は誤り／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

イ. 点検整備記録簿の回答は正しい／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

ウ. 点検整備記録簿の回答は正しい／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

エ. 点検整備記録簿の回答は誤り／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。使用者側の記録義務がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。灯光色・明るさ等の基準がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-105 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【点検整備記録簿】設問「点検整備記録簿に記載すべき事項として適切なものはどれか。」に対し、回答「点検年月日、点検結果、整備概要、整備完了年月日、総走行距離、実施者など。」とした。

B.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「尾灯の目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「ブレーキ操作時だけ点灯して減速を示す。」とした。

ア. 点検整備記録簿の回答は正しい / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

イ. 点検整備記録簿の回答は誤り / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

ウ. 点検整備記録簿の回答は正しい / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

エ. 点検整備記録簿の回答は誤り / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法令・手引では点検結果、整備概要、完了日、走行距離、実施者等を記録する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。制動灯の役割である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-106 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【点検整備記録簿】設問「事業用トラックの点検整備記録簿の法定保存期間として適切なものはどれか。」に対し、回答「6か月」とした。

B.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「制動灯の機能として正しいものはどれか。」に対し、回答「後退中であることだけを示す。」とした。

ア. 点検整備記録簿の回答は正しい / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

イ. 点検整備記録簿の回答は誤り / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

ウ. 点検整備記録簿の回答は誤り / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

エ. 点検整備記録簿の回答は正しい / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定期間より短い。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。後退灯の機能である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-107 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【点検整備記録簿】設問「2025年7月8日以降の点検整備記録簿の取扱いについて正しいものはどれか。」に対し、回答「すべての事業者に紙の記録簿の廃止が義務付けられた。」とした。

B.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「方向指示器の機能として正しいものはどれか。」に対し、回答「右左折又は進路変更を他の交通に示す。」とした。

A. 点検整備記録簿の回答は誤り／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

I. 点検整備記録簿の回答は正しい／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

U. 点検整備記録簿の回答は誤り／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

E. 点検整備記録簿の回答は正しい／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。電子化は選択可能であり強制ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準第41条は右左折・進路変更を示す装置として方向指示器を規定する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-108 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【点検整備記録簿】設問「定期点検又は必要な整備を行った後の点検整備記録簿への記載時期として正しいものはどれか。」に対し、回答「事故が起きた場合だけ記載する。」とした。

B.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「前部霧灯の取扱いについて保安基準上正しいものはどれか。」に対し、回答「他の交通を眩惑するほど上向きに照射しなければならない。」とした。

A. 点検整備記録簿の回答は誤り／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

I. 点検整備記録簿の回答は正しい／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。

U. 点検整備記録簿の回答は正しい／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

E. 点検整備記録簿の回答は誤り／灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事故の有無に関係なく記録する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。他交通を妨げない性能が必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-109 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【点検整備記録簿】設問「点検整備記録簿を適切に保存する実務上の利点として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「過去の点検結果や部品交換履歴を確認し、次の整備時期や異常傾向の判断に活用できる。」とした。
- B.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「自動車に追加の装飾灯を取り付ける場合の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「荷主の承諾があれば保安基準の灯火制限は適用されない。」とした。
- ア. 点検整備記録簿の回答は正しい / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。
- イ. 点検整備記録簿の回答は誤り / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。
- ウ. 点検整備記録簿の回答は正しい / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい。
- エ. 点検整備記録簿の回答は誤り / 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。整備履歴の蓄積は消耗部品の交換時期や異常傾向の把握に役立つ。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。私人間の承諾で基準を免除できない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-110 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「一般貨物自動車運送事業の営業所における整備管理者の選任基準として正しいものはどれか。」に対し、回答「100台未満なら選任不要である。」とした。
- B.【非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口】設問「一般的四輪の事業用トラックに備える非常信号用具について正しいものはどれか。」に対し、回答「故障時は前照灯だけあれば非常信号用具は不要である。」とした。
- ア. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。
- イ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。
- ウ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。
- エ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。5台以上で選任対象となる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。独立した装備要件である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-111 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者を選任した場合の届出期限として正しいものはどれか。」に対し、回答「届出は一切不要である。」とした。

B.【非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口】設問「貨物自動車の座席ベルトについて正しい考え方はどれか。」に対し、回答「運転者席等には、車種・製作時期等に応じて保安基準に適合する座席ベルト等を備え、正常に使用できる状態を保つ。」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定届出がある。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。座席ベルト等は乗員保護のため保安基準で規定され、機能状態を維持する必要がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-112 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「自動車整備士資格を用いず実務経験等によって整備管理者となる場合の代表的な資格要件として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転免許を取得して1年以上経過していれば足りる。」とした。

B.【非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口】設問「消火器を備えなければならない貨物自動車の例として、保安基準に明確に該当するものはどれか。」に対し、回答「どの自動車にも消火器の装備規定は存在しない。」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転免許歴だけでは足りない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。明確な装備規定がある。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-113 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の資格要件として認められるものはどれか。」に対し、回答「一級、二級又は三級の自動車整備士技能検定に合格した者。」とした。

B.【非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口】設問「非常口の装備義務について、一般的な貨物トラックとの関係で正しいものはどれか。」に対し、回答「貨物トラックは乗車定員に関係なく必ず2個の非常口が必要である。」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。施行規則は一級・二級・三級の自動車整備士技能検定合格者を資格要件の一つとしている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。一律2個という規定ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-114 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「過去に整備管理者の解任命令を受けた者を再びトラックの整備管理者に選任する場合の制限として適切なものはどれか。」に対し、回答「解任翌日から必ず選任できる。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法の目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「貨物運送事業の運賃を全国一律に定めること。」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。直後の再選任は認められない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運賃統制だけを目的とする法律ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-115 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の権限として正しいものはどれか。」に対し、回答「道路交通信号の設置を決定すること。」とした。
- B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法にいう「道路運送車両」の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車、原動機付自転車及び軽車両」とした。
- ア. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。
- イ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。
- ウ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。
- エ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路管理・警察の領域である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第2条第1項は、道路運送車両を「自動車、原動機付自転車及び軽車両」と定義する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-116 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

- A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「日常点検の結果に基づく整備管理者の業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「運転免許の停止期間を決めること。」とした。
- B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「自動車」の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「軌条を走行する鉄道車両を含む。」とした。
- ア. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。
- イ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。
- ウ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。
- エ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。行政処分権限ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。軌条を用いる鉄道車両はこの定義から外れる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-117 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の定期点検に関する業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「法定の定期点検を実施し、その実施状況を管理する。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「軽車両」の説明として正しいものはどれか。」に対し、回答「原動機で走るすべての二輪車をいう。」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。定期点検の実施は整備管理者の主要権限である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。原動機を用いる二輪車を一括して軽車両とはしない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-118 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「点検で不具合が見つかった場合の整備管理者の業務として適切なものはどれか。」に対し、回答「故障部品を外したまま必ず運行させる。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法にいう「運行」の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「私有地の構内だけで使用する場合も必ず運行に含まれる。」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。保安基準適合を確保する必要がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。道路以外の場所のみでの使用は定義から除かれる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-119 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者が定めるべきものとして正しいものはどれか。」に対し、回答「運転者の所得税率。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法にいう「道路」に含まれるものとして最も適切なものはどれか。」に対し、回答「道路法による道路、道路運送法による自動車道及びその他の一般交通の用に供する場所」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。税務事項である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第2条第6項の道路は、道路法上の道路等に加え「その他の一般交通の用に供する場所」も含む。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-120 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の記録管理業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「記録簿を保存せず毎月廃棄する。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「自動車運送事業」の定義について正しいものはどれか。」に対し、回答「自家用自動車による無償運送だけをいう。」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定保存期間がある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自家用の無償運送を定義したものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-121 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者の自動車車庫に関する業務として正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車車庫を適切に管理する。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の自動車の種別を定める基準として正しい組合せはどれか。」に対し、回答「運転者の免許歴・年間走行距離・積荷価格」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。施行規則上、自動車車庫の管理も整備管理者の権限に含まれる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。運転者属性や積荷価格で車両種別は決まらない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-122 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者が運転者や整備員に対して行うべきこととして正しいものはどれか。」に対し、回答「車両の安全状態に関する情報共有を禁止する。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法に規定される自動車の種別の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「営業用自動車、自家用自動車、レンタカーだけ」とした。

A. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

I. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

U. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

E. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。情報共有が必要である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。用途や業態の区分と車両法上の種別は別である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-123 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者を置く営業所の整備管理規程について正しいものはどれか。」に対し、回答「口頭の指示だけあれば規程は不要である。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「登録を受けなければ運行の用に供することができない「登録自動車」の対象について正しいものはどれか。」に対し、回答「原則として自動車が対象だが、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車は登録制度の対象から除かれる。」とした。

ア. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

イ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

ウ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

エ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。組織的な整備管理の基準として規程が必要である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第4条の登録制度は、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く自動車を対象とする。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-124 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）】設問「整備管理者が法令等に違反し職務遂行が著しく不適切な場合の行政上の措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「荷主が運転免許を取消す。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「登録自動車の所有権の得喪について、道路運送車両法上正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車の所有権は登録の有無にかかわらず第三者対抗関係に影響しない。」とした。

ア. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

イ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

ウ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は正しい／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

エ. 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令）の回答は誤り／目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。荷主に行政処分権はない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。登録の有無は第三者対抗に關係する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-125 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備命令】設問「自動車が保安基準に適合しない状態、又は適合しなくなるおそれがある状態にあるときの措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「地方運輸局長は、使用者に対して必要な整備を行うべきことを命ずることができる。」とした。

B.【目的・用語の定義・自動車の種別】設問「道路運送車両法上の「軽自動車」と「軽車両」の関係について最も適切なものはどれか。」に対し、回答「軽車両は軽自動車のうち事業用に限った名称である。」とした。

A. 整備命令の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

I. 整備命令の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

U. 整備命令の回答は正しい / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は正しい。

E. 整備命令の回答は誤り / 目的・用語の定義・自動車の種別の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第54条は、基準不適合又はそのおそれがある場合に整備命令を可能としている。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事業用・自家用の別で呼び分けるものではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-126 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備命令】設問「整備命令を受けた自動車の使用者の対応として正しいものはどれか。」に対し、回答「命令書を受け取っただけで整備は不要である。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録対象自動車を新たに運行の用に供しようとする場合の原則として正しいものはどれか。」に対し、回答「登録番号標を自作して表示すれば登録前でも運行できる。」とした。

A. 整備命令の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

I. 整備命令の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

U. 整備命令の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

E. 整備命令の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。受領だけでは履行にならない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。自作の番号標で登録に代えることはできない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-127 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備命令】設問「整備命令に従わない場合に生じ得る措置として正しいものはどれか。」に対し、回答「荷主にだけ罰則が科され、使用者には影響しない。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「新規登録の申請と新規検査の関係について正しいものはどれか。」に対し、回答「登録対象自動車では、新規登録の申請は原則として新規検査の申請等と同時に行う。」とした。

A. 整備命令の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

I. 整備命令の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

U. 整備命令の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

E. 整備命令の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。使用者への措置が中心となる。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第7条第6項・第59条第2項は、登録対象車について新規登録と新規検査の同時申請を基本としている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-128 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【整備命令】設問「不正改造により保安基準に適合しない状態となった自動車について正しいものはどれか。」に対し、回答「不正改造は私有車だけの問題で事業用車には適用されない。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「新規登録の基準に関する記述として正しいものはどれか。」に対し、回答「車台番号と申請書の記載が一致しなくても必ず登録される。」とした。

A. 整備命令の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

I. 整備命令の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

U. 整備命令の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

E. 整備命令の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事業用車にも適用される。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車台番号等の同一性確認は重要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-129 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「道路運送車両の保安基準における自動車の長さの一般的な上限として正しいものはどれか。」に対し、回答「12メートル（一定のセミトレーラは13メートルの特例がある）。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の所有者の住所が変わった場合の原則的な手続として正しいものはどれか。」に対し、回答「所有者変更がない限り住所変更は登録手続不要である。」とした。

ア.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

イ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

ウ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

エ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準第2条は長さ12mを基本とし、告示で定める一定のセミトレーラに13mの扱いがある。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。住所変更も変更登録の対象である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-130 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「基準緩和等の特例を受けていない一般的なトラックについて、車幅を実測したところ2.55メートルであった。保安基準上の評価として適切なものはどれか。」に対し、回答「12メートル以下なので幅の基準に適合する。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の使用の本拠の位置に変更があった場合について正しいものはどれか。」に対し、回答「必ず移転登録で処理する。」とした。

ア.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

イ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

ウ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

エ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。12メートルは一般的な長さの上限であり、幅の判定には用いない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。所有者変更ではないため通常は移転登録ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-131 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「基準緩和等の特例がない一般的なトラックの高さが3.75メートルであった。この車両の「高さ」だけを保安基準の一般上限と比較した判断として正しいものはどれか。」に対し、回答「2.5メートルを超えているため、高さについて基準不適合である。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の所有者が売買により変更された場合、新所有者が行う手続として正しいものはどれか。」に対し、回答「所有者変更の日から15日以内に移転登録を申請する。」とした。

ア.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

イ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

ウ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

エ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。2.5メートルは一般的な幅の上限であり、高さの判定基準ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第13条は、所有者の変更があったとき、新所有者に15日以内の移転登録申請を求める。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-132 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「セミトレーラ以外の自動車で、最遠軸距が5.5メートル未満の場合の車両総重量の上限として正しいものはどれか。」に対し、回答「36トン。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「次のうち、通常「変更登録」ではなく「移転登録」の対象となるものはどれか。」に対し、回答「所有者の住所が変更された。」とした。

ア.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

イ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

ウ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

エ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。告示で定める特定セミトレーラの値である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。住所変更は変更登録の対象となる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-133 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「セミトレーラ以外の自動車で最遠軸距が7メートル以上、かつ長さが11メートル以上の場合、保安基準上の車両総重量の上限として正しいものはどれか。」に対し、回答「25トン。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車が解体され、再び自動車として使用しない場合の手続として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「変更登録だけを行う。」とした。

A. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

I. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

U. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

E. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準第4条では、当該条件のセミトレーラ以外の自動車は25tが上限となる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。登録事項の単なる変更ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-134 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「自動車の軸重の一般的な上限として保安基準に定められているものはどれか。」に対し、回答「25トン。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の使用を当면中止するが、将来再使用する可能性がある場合に選択される手続として適切なものはどれか。」に対し、回答「車検証の有効期間更新だけ」とした。

A. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

I. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

U. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

E. 長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車両総重量の一部条件の値である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。検査有効期間の更新と使用中止の登録手続は別である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-135 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「後写鏡等の突出について保安基準の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「後写鏡はどれだけ突出しても制限がない。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車の登録事項に関する証明書について正しいものはどれか。」に対し、回答「法定の手続により、登録事項等証明書の交付を請求する制度がある。」とした。

ア.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り／新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

イ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい／新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

ウ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り／新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

エ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい／新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。無制限ではない。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。法第22条は登録事項等証明書の交付請求制度を置いている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-136 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【長さ・幅・高さ・車両総重量】設問「保安基準の長さ・幅・高さ等を超える特殊な構造の車両について正しい考え方はどれか。」に対し、回答「営業所長が口頭で許可すれば自由に超過できる。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「自動車登録ファイルを管理する者として正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車メーカー」とした。

ア.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り／新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

イ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい／新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

ウ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は正しい／新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

エ.長さ・幅・高さ・車両総重量の回答は誤り／新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。社内許可では足りない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。メーカーが国の登録ファイルを管理するわけではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-137 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「車両総重量が2トンを超える自動車等の制動装置について、保安基準上正しいものはどれか。」に対し、回答「所定の制動性能を有する二系統以上の制動装置を備えることが求められる。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「永久抹消登録等をした自動車に係る自動車登録ファイルの記録の保存について、正しいものはどれか。」に対し、回答「保存期間は自動車の所有者が任意に決める。」とした。

ア. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

イ. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

ウ. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

エ. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準は一定の自動車に二系統以上の制動装置と所定性能を求める。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。保存期間は所有者の任意ではなく法律で定められる。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-138 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「警音器の装備について正しいものはどれか。」に対し、回答「すべての自動車で警音器は禁止される。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「新規登録申請に虚偽の事項があると認められる場合の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「申請者が事業者なら虚偽があっても登録できる。」とした。

ア. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

イ. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

ウ. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

エ. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。規定と逆である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。事業者であることによる例外はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-139 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「大型トラックの後写鏡・後方等確認装置に関する考え方として適切なものはどれか。」に対し、回答「後写鏡は装飾品なので保安基準と無関係である。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録対象自動車の新規登録を行う場面の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「ナンバーのない新車や、一時抹消後に再び使用中古車を登録対象車として使用しようとする場合。」とした。

A. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

I. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

U. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

E. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

U：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。法定の保安装置である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。国土交通省の登録ポータルは、新車新規と抹消した車の再使用（中古車新規）を新規登録の代表例としている。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-140 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【制動装置・警音器・後写鏡】設問「制動装置に異常があり制動性能が保安基準を満たさない車両について正しいものはどれか。」に対し、回答「低速走行を約束すれば整備は不要である。」とした。

B.【新規・変更・移転・抹消登録】設問「登録自動車について、所有者の氏名又は名称の変更と所有者そのものの変更の組合せとして正しいものはどれか。」に対し、回答「氏名・名称の変更は移転登録、所有者変更は変更登録。」とした。

A. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

I. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は正しい。

U. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は正しい / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

E. 制動装置・警音器・後写鏡の回答は誤り / 新規・変更・移転・抹消登録の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。任意の速度制限で基準不適合を免除できない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。手順が逆である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-141 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「自動車の前照灯について保安基準上正しいものはどれか。」に対し、回答「原則として前面に走行用前照灯及びすれ違い用前照灯を備え、それぞれ所定の性能を満たす。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「新規登録後の自動車登録番号標の取扱いとして正しいものはどれか。」に対し、回答「番号標を車内に保管すれば車外への取付けは不要である。」とした。

ア. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は誤り。

イ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は正しい。

ウ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は正しい。

エ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準第32条は走行用・すれ違い用前照灯等の装備と性能を規定する。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車外の所定位置への取付けが必要である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-142 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「尾灯の目的として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「右左折の意思だけを示す。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「登録自動車の封印に関する説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「封印は番号標とは無関係である。」とした。

ア. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は正しい。

イ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は誤り。

ウ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は正しい。

エ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は誤り。

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。方向指示器の役割である。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。番号標の取付けと一体の制度である。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-143 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「制動灯の機能として正しいものはどれか。」に対し、回答「常時前方を照らす。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「自動車登録番号標の表示について正しいものはどれか。」に対し、回答「番号の識別に支障が生じないよう、見やすい状態で表示しなければならない。」とした。

ア. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り／自動車登録番号標の回答は誤り。

イ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい／自動車登録番号標の回答は誤り。

ウ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り／自動車登録番号標の回答は正しい。

エ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい／自動車登録番号標の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。前照灯の機能である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。番号標には明確な表示義務があり、被覆等により識別を妨げてはならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-144 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「方向指示器の機能として正しいものはどれか。」に対し、回答「エンジンオイル量を後続車に示す。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「自動車登録番号標を他の自動車に使用することについて正しいものはどれか。」に対し、回答「車種が同じなら一時的に付け替えてよい。」とした。

ア. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り／自動車登録番号標の回答は正しい。

イ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい／自動車登録番号標の回答は正しい。

ウ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい／自動車登録番号標の回答は誤り。

エ. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り／自動車登録番号標の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。整備情報表示装置ではない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車種一致は例外理由にならない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-145 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「前部霧灯の取扱いについて保安基準上正しいものはどれか。」に対し、回答「自動車の前面に備えることができ、霧等で視界が制限される場合に前方照度を増加させる性能等の基準がある。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「自動車登録番号標を偽造又は変造して使用する行為について正しいものはどれか。」に対し、回答「夜間だけなら認められる。」とした。

A. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は誤り。

I. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は正しい。

U. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は正しい。

E. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は誤り。

答え・解説

正答：A

A：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

I：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

U：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。前部霧灯は「備えることができる」灯火で、性能・取付基準が定められる。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。時間帯による例外はない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-146 難易度3

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）】設問「自動車の追加の装飾灯を取り付ける場合の考え方として正しいものはどれか。」に対し、回答「荷主の承諾があれば保安基準の灯火制限は適用されない。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「転居等により管轄が変わり自動車登録番号が変更となる場合の実務として適切なものはどれか。」に対し、回答「番号変更があっても封印は一切関係しない。」とした。

A. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は正しい。

I. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は誤り。

U. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は正しい。

E. 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器）の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は誤り。

答え・解説

正答：I

A：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

I：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

U：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

E：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。私人間の承諾で基準を免除できない。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。登録車では新番号標の取付けに封印が関係する。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-147 難易度1

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口】設問「一般的な四輪の事業用トラックに備える非常信号用具について正しいものはどれか。」に対し、回答「故障時は前照灯だけあれば非常信号用具は不要である。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「登録対象自動車が国の登録を受けた後、運行の用に供するための要件として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「登録を受け、番号標を取り付け、必要な封印を受ける。」とした。

ア. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は誤り。

イ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は誤り。

ウ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は正しい。

エ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は正しい。

答え・解説

正答：ウ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

ウ：正しい。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せと一致する。

エ：誤り。実際の判定はA=誤、B=正で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。独立した装備要件である。

Bは正しい。選んだ回答は正答肢である。国土交通省の登録概要は、登録対象自動車は登録、ナンバープレート取付け、封印を受けなければ運行できないと説明している。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-148 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口】設問「貨物自動車の座席ベルトについて正しい考え方はどれか。」に対し、回答「貨物車には座席ベルトに関する保安基準が一切ない。」とした。

B.【自動車登録番号標】設問「ナンバープレートを紛失又は盗難した登録自動車について適切な対応はどれか。」に対し、回答「番号標がなくても車検証があればそのまま運行する。」とした。

ア. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は正しい。

イ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は正しい。

ウ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい / 自動車登録番号標の回答は誤り。

エ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り / 自動車登録番号標の回答は誤り。

答え・解説

正答：エ

ア：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

イ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：正しい。実際の判定はA=誤、B=誤で、この組合せと一致する。

総合解説：Aは誤り。選んだ回答は誤答肢である。貨物車も対象となり得る。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。車検証だけで番号標表示義務を免れない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-149 難易度2

次の回答A・Bの正誤の組合せとして正しいものはどれか。

A.【非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口】設問「消火器を備えなければならない貨物自動車の例として、保安基準に明確に該当するものはどれか。」に対し、回答「指定数量以上の危険物を運送する自動車（被牽引自動車を除く）。」とした。

B.【臨時運行の許可】設問「臨時運行許可制度の説明として最も適切なものはどれか。」に対し、回答「登録を永久に不要とする制度。」とした。

ア. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は誤り。

イ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は正しい。

ウ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は正しい / 臨時運行の許可の回答は正しい。

エ. 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口の回答は誤り / 臨時運行の許可の回答は誤り。

答え・解説

正答：ア

ア：正しい。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せと一致する。

イ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

ウ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

エ：誤り。実際の判定はA=正、B=誤で、この組合せとは一致しない。

総合解説：Aは正しい。選んだ回答は正答肢である。保安基準第47条は火薬類、指定数量以上の危険物、一定量の可燃物・高圧ガス等を運ぶ車両などを対象に消火器を求める。

Bは誤り。選んだ回答は誤答肢である。恒久的な登録免除ではない。

2つの論点を個別に判定した上で組合せを確定する。

UK02-PDF-150 難易度3

非常口の装備義務について、一般的な貨物トラックとの関係で正しいものはどれか。

ア. すべての貨物トラックに非常口が必須である

イ. 非常口は乗車定員など一定条件に該当する自動車が対象で、一般的な貨物トラックに一律の装備義務があるわけではない

ウ. 非常口に関する保安基準は存在しない

エ. 貨物トラックには必ず2個の非常口が必要である

答え・解説

正答：イ

ア：誤り。一律装備ではない。

イ：正しい。対象車両の条件に基づき判断する。

ウ：誤り。非常口に関する保安基準は存在する。

エ：誤り。一律2個という規定ではない。

総合解説：保安設備は車種・乗車定員等の適用条件を確認して判断する。